

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	44	事業名	文化の家事業	担当部課	くらし文化部文化の家
基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪		決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	7 市民参加の仕組みづくり		会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款 - 項 - 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有	ながくて未来園(長久手市第6次総合計画)(H31.3)、文化芸術マスタープラン(H30.3)	9-4-5 文化の家施設費	
	事業開始の背景、経緯等	長久手市は、歴史の中で培われ継承・発展してきた風土や伝統文化を持ち、周辺を含め大学が多数存在し、地域には学生や芸術家、専門家が多数在住している。このような地域の特性と市民一人ひとりの個性を活かしつつ、たくさんの方が協力して新たな魅力ある文化芸術の創造を図る。また、豊かな地域社会が織りなす質の高い生活空間を創出することによって、真に市民がゆとりと潤いに満ち、生き生きと暮らしを市を目指す。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	両者と協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市の文化芸術政策の基本理念『ともに創る きらめく長久手』を実現するために、3つの基本方針のもと、6つの事業に取り組む。事業については、重点的な5つの施策を定め、今計画期間において特に力を入れて取り組む。これらの取り組みを基礎として、さまざまな分野に文化芸術を活用していく。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市民、近隣住民等
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 「暮らしが楽しい地域・環境の創出」「地域の活力の向上」「主体的なまちづくりの担い手の育成」「経済の活性化」などを實現、市民が地域に愛着と誇りを持ち、快適で魅力と活力あまらまちづくり

コスト推移	項目	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	事業費(A)	千円	予算	659,176	726,213	219,818	210,716	214,926
			決算	264,111	985,154	212,251	207,453	
	人件費(B)	千円	決算	48,938	51,935	44,117	36,780	
	総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	313,049	1,037,089	256,368	244,233	
事業対象の数(D) (R2年度は想定数)	人		436,579	386,936	499,284	458,006	300,000	
対象あたりコスト(C/D)	千円		1	3	1	1		

成果推移	成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H28年度(2016)	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)
	施設使用料収入	千円	目標	18,219	15,181	19,296	21,680	23,756
			実績	16,079	21,680	23,756	19,383	
	(指標の設定根拠)				(数値目標の根拠)			
(前年までと変更した場合はその理由)				過年度の実績を考慮し、事業成果が反映されるようにする。原則として、予算額を目標値とする。ただし、令和元年度から令和2年度にかけて、新型コロナウイルス感染症対策による閉館及び利用規制により、目標値には達しない見込み。				

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 平成29年度の改修工事を機に、割引料金の新設、利用規制の緩和により、新たな施設利用者の増加を達成したが、まだ利用の少ない施設や時間帯があり、収入の増加の余地はある。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 休日のホールや、舞踊室、音楽室といった一部の施設は、利用希望者が多く、希望する日時に予約がとれないという利用者の不満が強い。こうした施設において、収入を増加させることは難しい。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 施設に限りがあり、利用率が向上しても得られる収入に限りがある。かねてから運営の収支の格差が問題視されており、利用者数やサービスの水準を下げない上で、いかに収入を増やす料金形態を構築するかが課題である。

事業を構成する事務事業①	事務事業①	文化の家事務事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	【アクションプラン】 (2) 社会団体ににつながる取組を行うアーティストの人数【累計】	人	見込 実績	1 1	1 1	1 1	1 1	1 1
	(3)		見込 実績					
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> 長久手市文化の家フランチャイズアーティスト制度を導入。社会福祉が支援の対象とする人々が文化芸術に触れる場を造る長久手市文化の家福祉事業「ふくしてあーと」等を実施。(文化の家企画事業)							今後の方向性

事業を構成する事務事業②	事務事業②	文化の家管理事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込 実績					
	(3) 来館者数	人	見込 実績	450,000 458,006	300,000	450,000	450,000	250,000
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))> H30年度の49万人に比べて減少したが、それでもH29以前に比べて高い水準を維持することができた。フリースペースを積極的に活用するなど、有料施設利用者だけでなく、気軽に来館できる劇場を目指した。ただし、2月下旬から新型コロナウイルス感染症防止のため、事業中止、臨時閉館の影響が出ている。							今後の方向性

事業を構成する事務事業③	事務事業③	文化の家管理事業						
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込 実績					
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込 実績					
	(3)		見込 実績					
	<備考:活動の概要(R1年度(2019))>							今後の方向性

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 近年、時間外業務の削減を行うとともに、民間委託を積極的にすすめてきたが、施設管理のための委託料と経年劣化による修繕料が支出の大半を締める状況にあり、収支の差が深刻な課題となっている。単に支出を減らしてサービスを維持するのではなく、業務を縮減しつつ、収益を確保できる業務に転換する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 収入を上げられない公用利用、利用者への優遇措置、維持管理費にそぐわない利用料金は、単なる経費節減では収支の差の改善には結びつかない。これは、指定管理制度を導入した場合においても、経営を困難にさせる要因となりにかたない。令和5年には改修による長期閉館を予定しており、この機に向けて、施設利用制度の単純化と収益に結びつけられる利用料金を実施する。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえて、事業を進めてください。 ・行政改革の重要課題事業に基づき、見直しを進めてください。 ・市民との連携協働の可能性が「有」のため、事務事業での市民参加について模索してください。
内部意見への回答		